

#### 引用・参考文献

- 秋山正子(2012).*在宅ケアのはぐくむ力*.東京;医学書院.
- 浅井美千代,青木きよ子,高谷真由美,長瀬雅子(2017).我が国における「慢性疾患のセルフマネジメント」の概念分析.*順天堂大学医療看護学部医療看護研究*,13(2),10-21.
- 天谷真奈美,岩崎弥生(2006).社会的ひきこもり青年を抱える親への看護援助に関する研究.*千葉看護学会会誌*,12(1),79-85.
- Back AL, Arnold RM, Baile WF, et al.(2005). Approaching difficult communication tasks in oncology. *A cancer Journal for Clinicians* 55(3),164-177.
- Gottlieb,N.L., Feeley,N.,& Dalton,C., (2005). *The Collaborative Partnership Approach to Care A Delicate Balance* 看護学名著シリーズ:協働的パートナーシップによるケア:援助関係におけるバランス.(Y. Yoshimoto 吉本照子, I. Sakai 酒井郁子, Y. Sugita 杉田由加里, Trans.).東京;ELSEVIER JAPAN エルゼビア・ジャパン.
- Elwyn, G. (2016).The three talk model of shared decision making .*Shared Decision Making IN HEALTH CARE*. OXFORD university, 78-85.
- Hagiwara Eiko, Futawatari Tamae.(2013).A Concept Analysis: Empowerment in Cancer Patients. *The Kitakanto Medical Journal*(1343-2826),62(2),165-174.
- Hein,C.E., (1983). *Communication in nursing practice. 2nd ed* 看護とコミュニケーション.(N. Sukegawa 助川尚子, Trans.).東京; MEDICAL SCIENCES INTERNATIONAL メディカル・サイエンス・インターナショナル.
- Hollman, H.,& Lorig, K.(2000).Patients as partners in managing chronic disease. *British Medical Journal*,320,527-528.
- 菱沼典子,高橋恵子,松本直子,山田雅子,印東桂子,石川道子,他(2015).一般的に開かれた無料健康相談において看護職がとる相談パターンと利用者の満足度.聖路加学会誌,19(1),11-18.
- Institute of Medicine. (2001). *Crossing the quality chasm: a new health system for the 21<sup>st</sup> century*, Washington DC: National Academy Press.
- 石川かおり,岩崎弥生(2006).統合失調症をもつ人の地域生活におけるセルフマネジメントを支える看護援助の開発(第一報)-面接調査および文献検討による仮説モデルの考案-.*千葉看護学会会誌*,12(2),22-28.
- 岩田尚子,石垣和子,伊藤隆子(2015).在宅療養移行期に在宅療養生活に対して独居高齢者が抱く心配とその変化.*千葉看護学会会誌*,20(2),21-28.
- 井沢知子,荒尾晴恵(2018).がん治療後のリンパ浮腫をもつ患者における複合的治療のアドヒアランスの概念分析.*日本看護科学会誌*,38,169-175.
- Kamei T., Takahashi K., &Omori J., et al.(2017).Toward Advanced Nursing Practice along with People-Centered Care Partnership Model for Sustainable Universal Health Coverage and Universal Access to Health. *Revista Latino-Americana*

- nfermagem.25:e2839.DOI:10.1590/1518-8345.1657.2839.*
- Komatsu, H. (2006).Mid-term report on St Luke's College of Nursing's 21st century center of Excellence Program : Core elements and specific goals of people-centered care. *Japan Journal of Nursing Science*,3(1),71-76.
- 厚生労働省(2013).社会保障制度改革国民会議 報告書. 最終閲覧日(2020年1月20日).<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/pdf/houkokusyo.pdf>.
- 厚生労働省(2015).保健医療 2035 提言書. 最終閲覧日(2020年1月20日),<https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/shakaihoshou/hokeniryoku2035/>
- 勝山智子,後藤美紀,吉津志保,若木美奈子,本田千春,原田直美(2011).透析患者の服薬のコンコーダンス実現に向けての取り組み:コンコーダンス・スキルを活用した看護介入とその効果. *日本腎不全看護学会誌*,13(2),79-84.
- 川本美香,時長美希(2017).生活習慣病の予防を目的とした保健指導における保健師と対象者の協働的パートナーシップ. *高知女子大学看護学会誌*,43(1),91-101.
- 北村露輝,中村美鈴,松浦利江子,段ノ上秀雄(2012).看護師とのパートナーシップによる上部消化管がん患者の術後機能障害の緩和-術後6ヶ月間に着目して-. *自治医科大学看護学ジャーナル*,10,59-67.
- 中山和弘(2012).患者中心の意思決定支援:納得して決めるためのケア.東京;中央法規出版株式会社.
- 中山健夫,藤本修平,湯川慶子,中山和弘,大坂和可子,堀江重朗(2017).第1章 SDM 入門・総論.中山健夫,これから始める!シェアード・ディジジョンメイキング 新しい医療のコミュニケーション(PP. 10-14),東京;日本医事新報社
- 中山健夫,藤本修平,湯川慶子,中山和弘,大坂和可子,堀江重朗(2017).第2章 SDM の具体的な方法.藤本修平,中山健夫,これから始める!シェアード・ディジジョンメイキング 新しい医療のコミュニケーション(PP. 30-44),東京;日本医事新報社
- 篠田道子,宇都宮宏子,行田奈穂美,松井純子,山田雅子(2012).第1章退院調整の基本知識.山田雅子,ナースのための退院調整 第2版 院内チームと地域連携のシステムづくり(PP.2-12),東京;日本看護協会出版会.
- 鈴木良美,大森純子,酒井昌子,安齋ひとみ,小林真朝,宮崎紀枝,他(2009).日本の「地域保健活動におけるパートナーシップ」:概念分析. *日本地域看護学会誌*,12(1),44-49.
- 高橋恵子(2011),がん患者といっしょに考えるためのコミュニケーション技術, *がん看護*,16(4),483-486.
- 高橋恵子,亀井智子,大森純子,有森直子,麻原きよみ,菱沼典子,他(2018).市民と保健医療従事者とのパートナーシップに基づく「People-Centered Care」の概念の再構築. *聖路加国際大学紀要*,4,9-17.
- 高橋恵子,菱沼典子,山田雅子,佐藤普巨,有森直子,真部昌子,他(2013).看護大学が開設して

- いる市民のための聖路加健康ナビスポット「るかなび」の活動評価. *聖路加国際大学紀要*,39,48-55.
- 高山良子,藤田佐和(2016).パートナーシップ概念の検討-がん患者と家族への活用. *高知女子大学看護学会誌*,41(2),1-11.
- 筒井孝子(2014). *地域包括ケアシステム構築のためのマネジメント戦略-integrated careの理論とその応用*-,東京:中央法規出版株式会社.
- 富安眞理,山村江美子(2009).訪問看護師が訪問した在宅療養者とその家族を支えるための看護実践内容の構成要素-質的調査による検討-. *日健教誌*,17(4),260-267.
- 宇佐美しおり,峰博子,吉田智美,坂木晴世,高山良子,笠谷美保,他(2015).在宅療養移行支援(Transitional Care)における専門看護師の活動実態と評価. *看護*,67(7),78-90.
- 宇都宮宏子,三輪恭子(2011).序章ジェネラリストナースが行う退院支援・退院調整とは. 宇都宮宏子, *これからの退院支援・退院調整* ジェネラリストナースがつなぐ外来・病棟・地域,東京:日本看護協会出版会.
- 宇都宮宏子(2014). *看護がつながる在宅療養移行支援 病院・在宅の患者像別看護ケアのマネジメント*.東京:日本看護協会出版会.
- 渡邊美奈,藤田佐和(2015).造血器腫瘍患者のギアチェンジを支える看護師の構え. *日がん看会誌*,29(3),7-17.
- 山岸暁美,久部洋子,山田雅子,高橋則子,鎌田良子,福井小紀子,他(2015).「在宅の視点のある病棟看護の実践に対する自己評価尺度」の開発および信頼性・妥当性の検証, *看護管理*,25(3),248-254.
- 山崎摩耶(2005).日本看護協会が進める“まちの保健室”, *Community Care*,7(3),12-13.
- 山田緑(2004).People-Centered Care;概念分析. *聖路加看護学会誌*,8(1),22-28.